

矢板市長選挙選挙公報

矢板市選挙管理委員会

笑顔の
矢板を
つくる

子どもたちに誇れる「新矢板づくり」

人脈

経験

実行力

皆さまと交わす

8つの約束



無所属
青木かつあき
昭和27年9月20日生(63歳)

①子育て支援、福祉の充実

◎子育て支援

- ・「子育て総合支援センター」の設置。
- ・医療費の現物給付を小学6年生まで延長。
- ・学校給食、学童保育、予防接種等の負担を軽減。
- ・奨学金制度の拡充。

◎福祉の充実

- ・障がい者支援。医療体制のさらなる充実。
- ・介護ボランティアポイント制度導入。
- ・福祉タクシーの拡充。

②機能性向上で暮らしやすく

- ◎塩谷病院周辺に医療福祉商業ゾーンを整備。
- ◎片岡駅周辺に居住地区を整備。
- ◎市道整備を計画的に実施。
- ◎泉地区、八方ヶ原周辺整備から交流人口を増やす。

③雇用・定住人口増！

- ◎農商工品を東京圏自治体にトップセールス。経済交流を強化。
- ◎人脈を活かし、企業誘致。雇用増、収入増を実現。

④未来を担う人、まちづくり

⑥豊かな環境を子どもたちに残す！

⑧行政サービス向上！

⑤農業の収益を増やす！

⑦若いチームで未来づくり

詳しくは、こちらをご覧ください！

青木かつあきは、最終処分場絶対反対です。

青木かつあき

検索

● 略歴 ● 昭和50年：日本大学卒業。平成7年：矢板市議会議員初当選。平成11年：栃木県議会議員初当選。土木委員会委員長、文教警察委員会委員長歴任。平成17年：栃木県議会自民党議員会事務総長。平成19年：栃木県議会自民党議員会政調会長。平成21年：第96代栃木県議会議長。

● 現職 ● 栃木県体操協会会長、矢板市幼稚園連絡協議会会長、矢板市サッカー協会会長。

まっすぐに、ひたむきに、矢板の未来のために！！



無所属
さうどう淳一郎
昭和四十七年六月十五日生(四十三歳)

矢板の人口増加に最後の挑戦

「さうどう淳一郎」は矢板市民の皆様とともに、左記の「子どもや孫が帰ってくるまちづくり」によって、矢板市の人口増加に最後の挑戦をしていきます。そして親の世代から受け継いだふるさと矢板を、より賑やかにして、次の世代にバトンタッチしていきます。市民の皆様のご理解とご協力を、「さうどう淳一郎」に賜りますようお願い申し上げます。

1 矢板で安定した仕事をつくる！

- (1) 多種多様な企業の誘致
- (2) あらゆる分野での地産地消の推進
農産物、工業製品、エネルギー etc
- (3) 自治体間連携による高齢者支援施設の誘致

2 矢板に新しい人の流れをつくる！

- (1) スマートIC、国道4号バイパス事業に伴う交通ネットワークの整備
- (2) 国際経済交流の推進
企業誘致、観光客誘致、オリンピックキャンプ地誘致
- (3) 「高校生が集うまちづくり」の推進

3 矢板で結婚・妊娠・出産・子育ての希望を叶える！

- (1) 平日夜間の初期救急医療の実施
- (2) 病児・病後児保育の推進、子ども医療費の現物給付の拡大
- (3) 給付型奨学金制度の創設

略歴

栃木県立大田原高校卒業
早稲田大学大学院修士課程修了
栃木県議会議員(二期)
元栃木県障害福祉課主査
日本貿易振興機構(シエトロ)派遣

矢板市長選挙選挙公報

矢板市選挙管理委員会



改革はこれからだ 矢板市は変わる

改革 創造 感動



皆様のご支援が飯野まさとしの力、市政改革の原動力！



飯野まさとし

■本気の改革 第1弾 「まちづくり」

まちづくりの基本は、「生活しやすい」環境をつくることです。離れたくない、帰ってきたくなる、そしてずっと住みたくなる…。そのために必要なものは利便性とコミュニティです。

●交通・生活基盤インフラの整備で生活環境の充実

●防災・防犯対策による安全・安心なまちづくり

●市民参加による88行政区の住民自治の確立

●歴史・文化・伝統の保護と祭り・イベントの開催

●栃木フットボールセンター(JF跡地)の多目的活用

●観光・スポーツ・食文化等のゾーンづくりと活用で交流人口を増やす

■本気の改革 第2弾 「子育て」

郷土を愛する人づくり、次世代を担う人づくり。よい人が集うまちには、よい教育環境と福祉の充実が必要です。がんばる人を応援し、困っている人に優しい市政を築きます。

●結婚・出産・子育て・教育の支援

●定住促進の強化

●学校教育体制及び環境の充実

●学力の向上と支援

●地域包括ケアセンター2か所設置とケアシステム(医療・福祉・介護)の構築

■本気の改革 第3弾 「仕事づくり」

地域の活性化に欠かせないことは、経済基盤の安定です。市民一人一人が仕事をもち、ゆとりある暮らしができるように対策することが、自治体の役割であり、私の目指す市政です。

●商業施設・製造業工場・農業施設・有名優良繁盛店・ビジネスモデル的企業の誘致

●儲ける、儲かる強い農業の実現と企業間・産業界の連携

●企業経営基盤の強化

●新技術導入とビジネスモデルの構築

●観光農園ゾーンの構築

■本気の改革 第4弾 「行政づくり」

厳しい財政を再建するため、民間出身の私が副市長に推されました。財政を立て直すには、トップマネジメントの最適化(経営的運営)と職員意識改革が必要です。私は継続して行政改革に取り組みます。

●自主財源の拡大

●国・県の補助事業及び補助金の獲得

●俊敏・柔軟・高効率の自治体運営

●顧客である市民満足度の向上



飯野 正敏

【主な経歴】 ●矢板市副市長 ●矢板市シルバー人材センター 理事長 ●株式会社飯野製作所 専務取締役

矢板市長選挙投票日

平成28年4月10日(日)

午前7時～午後8時まで(第12投票所は午後6時まで)

◎期日前投票

平成28年4月4日～4月9日まで

午前8時30分～午後8時まで

詳しくは

矢板市選挙管理委員会事務局へ

☎43-6219



一票が やいたの明日を 育てます

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真製版により印刷したものです